

---

# 寝起きな想い

といもちM

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

寝起きな想い

### 【Nコード】

N2575I

### 【作者名】

ともちM

### 【あらすじ】

寝起きな少女がなにもしません。

(前書き)

読んで頂けたら幸いです。

朝はわりかし、ぱちりと目が覚めるほうである。

私がこういったことを言うと、周りからはとても意外そうにされる。

いろいろ言われたりしたが、一番に酷いものだと「目が覚める事なんてあるんだ」になる。

心外なことこの上ない。

常に夢遊病状態なのかと問いたい。

そして実際に聞いてみたら返事は「そうじゃないの？」である。

確かに、ほかの人と比べたら行動は遅いし、ちょっとした失敗が多いかもしれない。

けれども、だからといって意識がはっきりしてないというわけではないのである。

ただちょっと考えすぎなのだと思う。

私なりの考えを言うと、外側の出来事に対して内側で考える量のほうが多いのではないかと思うのだ。

ほかの人の意識を体感したことがないので実際の所はわからないのだけど、私の感想だと、まわりの人が5対5の割合で行動しているのに対して、私の場合は8対2くらいの割合で行動しているのじゃないかと思う。

簡単に言うと、空想好きなのかもしれない。

空想の内容はその時によって違うのだけど、ストーリー仕立ての時もあるし、物事の考え方や理屈をあれこれと考えていることもある。

具体的な内容はあまり言えない。特にストーリー仕立ての方の空想のほうは、もし私の意識がほかの人にもれていて、丸見えだつとしたならば、これほど恐ろしいことはない。その時こそ本当に意識がなくなるかもしれない。

まあ、そこに関して言えば、ほかの人だつて大なり小なりほかの人に言えば困るようになることを想像しているに違いないと私は考えているので、あまり気にはしていない。

私と同じように空想にふける人はやっているのではないかと思うことに、現実の記号化というものがある。

これは、さっきいった内側と外側の比率を、とにかく内側優先にするためのものである。

外側で起きている事に対して、いかに意識をとられることなく、私がつつがなく生活をしていけるかというチャレンジでもある。

これが有効になる時は、だいたい散歩している時や、通学中の時なのである。

なんだかたいそんなことをしているかのような言い方になってしまつてはいるけど、やっている事は普通であつたりする。ただ、それを意図的に徹底的にやろうとしているだけなのだ。

やることは簡単。道を歩いてる時に必要とされる自分の身を守るための行動を様式化して、システムチックに動くだけだ。

自転車で左折しようとする時に必要な行動は、スピードを下げる、後方を確認する、曲がつた先にぶつかるようななにかがないかといったものだと思うのだけど、これを一連の動作として体に覚えさせて、無意識でできるようにするのである。

これによつて、日常の行動に支障をきたすことなく生活をおくつていけるのだ。

ただ、問題なのが記号化しているだけあつてイレギュラーなことに弱いのである。緊急車両に気づきにくいし、知り合いとすれ違つてもまつたく気づかない。何度か恥をかいたり、罪悪感を感じたりする出来事にもなつたりするのである。

これを友達とかに言つたりすると、「あんたがどんだけぼーつとしていたのかはわかつた」というのである。

ぼーつとしているわけではなく、内側にしつかりと意識をもっているのよ！と抗議をするのだが、あまり意味はない。手を軽くふら

れてはいはいで終わりだったりする。

悔しい！

まあ、楽しい空想ライフをエンジョイするのには障害がつきものなのである。スポーツやゲームなどであつたら他人と楽しみを共有できるだろうけど、それとは違うから他人に直接に理解をしてもらうというのは無理なのだ。

そこで私の中の空想のくぎりがついたと思ったので、ふと時計を見てみた。

時計は8時10分を指し示していた。

ちなみに今日は月曜日で学校がある日で、私は基本的に8時10分には家をでないと遅刻してしまふ身なのである。

ちなみに私は起きたままの格好で布団に入っており、準備はなにもしていない。朝ごはんも食べていない。

起きたら無意識的に準備を始めるようにしないなといけないと思つたのと、お母さんのバカ！というやつあたりの想いが浮かんできた。

(後書き)

ありがとうございました。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2575i/>

---

寝起きな想い

2010年10月11日02時42分発行